

QUESTION ふたばの物知りクイズ ～食べ物編～

Q. 次の写真はどの地域の名物でしょうか。写真と町村名を線で結びましょう。

① みかん



本州みかん栽培の北限地？

② よっちゃんスルメ



復活した懐かしの味

③ たかと餅



由来に諸説。大根おろし餅

④ マミーすいとん



トルシエ監督命名の一品



(答えはページの下にあります)



「ふたばの教育」vol.5 (2016春号) の発行によせて

今号では「第2回ふるさと創造学サミット」を特集しました。「ふるさと創造学」では、出会いや体験などを通し、感じたり気付いたり考えたりすることや、それを表現したり発表したりすることを大切にしています。発表の方法やふれあいの場がさまざまに工夫された今回のサミットを通して、お互いに思いや考えを伝えること、つながることの楽しさと素晴らしさを、多くの皆様にお伝えできればと願っています。

誌面への感想・意見をぜひお寄せください

各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

浪江町教育委員会 … 電話：0243-62-0301
葛尾村教育委員会 … 電話：0247-61-2850
双葉町教育委員会 … 電話：0246-84-5210
大熊町教育委員会 … 電話：0242-26-3844
富岡町教育委員会 … 電話：0120-33-6466
川内村教育委員会 … 電話：0240-38-3805
檜葉町教育委員会 … 電話：0240-26-0808
広野町教育委員会 … 電話：0240-27-4166

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局
〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地
福島大学人間発達文化学類支援室内
電話：024-504-2886 / FAX:024-548-3181
Eメール：futabaeduc@edfcs.jp
<http://futaba-educ.net/> [双葉郡教育復興ビジョン](#) [検索](#)

A. 物知りクイズの答え：①広野町、②双葉町、③富岡町、④檜葉町

ふたばの教育 vol.5 (2016春号) 2016年3月1日発行 | 発行：福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会
編集：情報発信・コミュニケーション委員会 畠山照一郎 (浪江町教育委員会教育長)、庄野富士男 (双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局局長)
伏見伸一郎 (富岡町立富岡第二小学校長)、吉田夏子 (福島県立ふたば未来学園高校教諭)、板橋優子 (浪江町立浪江中学校教諭)
撮影 (P1-5)：フィリップ・ジェリーマン (双葉町外国語指導助手)、アンソニー・バラード (双葉町外国語指導助手)
コラージュ (P2-3)：菊池宏子 (ふるさと創造学サミットプログラムアドバイザー) | 映像編集：門馬徳夫 (浪江町立浪江中学校教諭)
取材協力：双葉郡内各校 | デザイン・制作：青柳徹 | 協力：中尾友子

ふたばの教育 vol.5

2016 春号

ふたばからのおたよりです。

ひとこと便せん付き
自由に書いて送ってね！

特集

学びの交差点

双葉郡8町村の小中高が初集合！



第2回 ふるさと創造学サミット

— 伝えて、学んで、つながって

ふたばの学校NEWS

ふたばの物知りクイズ ～食べ物編～

MOVIE



サミットの動画を
スマートフォンや
タブレットで見る
ことができます！

①COCOARアプリをダウンロード・
②COCOARアプリを起動
③上の集合写真にかざします

右のQRコードを読み込むか、「ココアル」で検索してください
・iPhone, iPad: 「App Store」
・Android: 「Google Play」



双葉郡の小中高が初集合！

第2回「ふるさと創造学サミット」開催

とき：2015年12月12日 ところ：郡山市中央公民館

「ふるさと創造学サミット」は双葉郡8町村の学校が集まって、各校が取り組む「ふるさと創造学」の成果等を子供たちが互いに共有し、ともに地域へ発信する場です。2年目を迎えた今年は郡内6つの高校も参加して、町村ごとにブースでポスターセッション形式の展示・発表に挑戦しました。

浪江町

- ▶ 浪江・津島小学校(6年生) = 浪江のまちをレゲエ調のオリジナルソングに乗せて
- ▶ 浪江中学校(2年生) = 町の誇りを胸に奮闘する職業人をインタビューし映像化
- ▶ 浪江高校・浪江高校津島校 = 部活動や学校行事のようすを展示

葛尾町

- ▶ 葛尾小学校(5、6年生) = 仮設商店訪問や村に伝わる宝財踊り体験を通し感じたことを発表
- ▶ 葛尾中学校(2、3年生) = 村の感謝祭復活に向け「中学生ができること」を提案、会場で人気投票を実施

富岡町

- ▶ 富岡第一・第二小学校(全学年) = FM番組づくりやふるさとの先輩へのインタビュー等の活動を発表
- ▶ 富岡第一・第二中学校(全学年) = 学年ごと「町の思い出の場所」「地域を楽しむ暮らし」「他地域との比較」をテーマに発表
- ▶ 富岡高校 = 歴代サッカー部やゴルフ部の優勝カップを実物展示

大熊町

- ▶ 熊町・大野小学校(5、6年生) = 町をどうしていきたい？わたしたちにできることは？人びとと出会い見つけた課題を追究
- ▶ 大熊中学校(全学年) = 個人研究の成果を学年代表が発表。みんなの研究成果もブースに展示
- ▶ 双葉翔陽高校 = 学校の取組を発表し会場からメッセージを募集

川内村

- ▶ 川内小学校(6年生) = 復興子ども教室を通じ一人ひとりが考えたことを発表
- ▶ 川内中学校(1、2年生) = 町の復興や伝統芸能の継承など、個人研究の成果を発表

双葉町

- ▶ 双葉南・北小学校(5、6年生) = いわき市で頑張る町の人をパンフレットでPR
- ▶ 双葉中学校(1、2年生) = 働くことを通して考えた、まちづくりのアイデアを発表
- ▶ 双葉高校 = 震災前後の学校の変化を展示物にまとめ、会場でメッセージを募集

広野町

- ▶ 広野小学校(4年生) = “Our Hometown Hirono”町の観光名所などを英語で紹介
- ▶ 広野中学校(1年生) = 町を舞台にした映画製作を通して考えた広野町のこれから
- ▶ ふたば未来学園高校 = 祭り・アート・ドラマ・スポーツの力をテーマに実践したことを発表

楡葉町

- ▶ 楡葉南・北小学校(6年生) = 天神原遺跡と楡葉町にある小学校について紹介
- ▶ 楡葉中学校(1年生) = くらしと防災・農林水産業・エネルギーのテーマ別に創作劇で発表

© 2016 Hiroko Kikuchi

MOVIE /



サミットの動画をスマートフォンやタブレットで見ることができます！

- ① COCOARアプリをダウンロード
 - ② COCOARアプリを起動
 - ③ Tシャツマークにかざすと、各町村ブースのようすが動画で流れます
- ※アプリのダウンロード方法は表紙を参照ください

「ふるさと創造学」って？

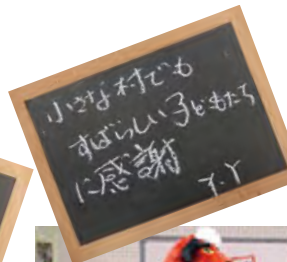
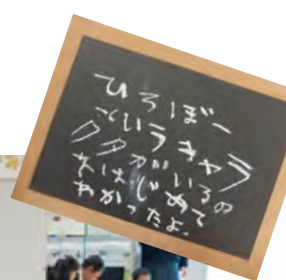
双葉郡8町村の学校が地域を題材に取り組む探究的な学習活動の総称です。

- ・「震災を通じ子供たちが得た経験を、生きる力に」との思いからはじまりました
- ・人と出会ったり体験したり。地域に関わる「もの」「こと」「ひと」すべてが学びの素材
- ・課題を設定し、情報を集めて考え、まとめ表現する一連のプロセスを通じて学びます

伝えて、学んで、つながってー サミット会場レポート

サミットには、各校の子供たちと先生、保護者や地域の方々を合わせ500人近くが集まりました。賑わう会場で精いっぱい発表し学び合った子供たちのようすを、参加者から寄せられたメッセージとともに紹介します。

オープニングの司会は高校生



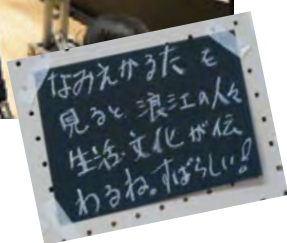
衣装や小道具も使って



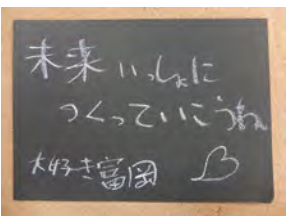
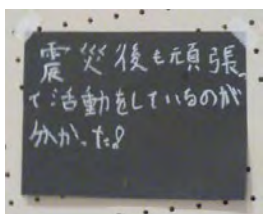
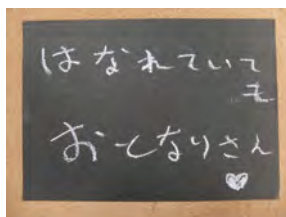
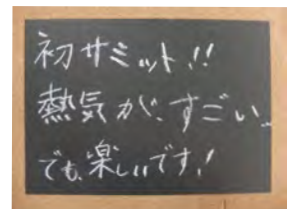
オープニングセレモニーでは、それぞれ各校のブースをPR



手作り資料や映像を駆使したプレゼン、来場者に意見を求めたり感想を書いてもらったりする参加型。工夫した展示・発表で、飽きさせません



参加者からの メッセージ



他の学校の子と交流できて楽しかった。 とてもアットホームでいい会だった

どのブースも力の入っている 発表・展示ですごかった!

ABOUT

ふるさと創造学サミット

☆目的

- ・実践的に表現・発信力を養う
- ・学びを通じて交流・協同する
- ・地域のつながりをつくり、示す

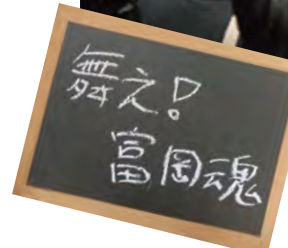
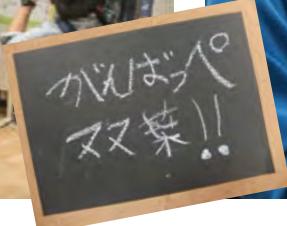
参加者

小学生	85人
中学生	109人
高校生	30人
教職員	138人
来場者等	142人

プログラム

- ・町村ブースをPRする コマーシャルタイム
- ・「ふるさと創造学」等の取組を 展示・発表するポスターセッション
- ・小・中高別昼食交流 など

呼び込みも必死。パンフレットやシールを配った学校もありました



どのブースも発表・展示を見に集まった人でいっぱい



交流ツールとして配られたサインブック。出会った人に「サインください」と声をかけあう姿が会場のあちこちに

文科省の先生から講評

昨年度も参加しましたが、格段に質が高まり、子供たちに力が付いてきていると感じました。



文部科学省初等中等教育局 視学官・田村学先生

私たちが企画しました!



サミット実行委員会の先生たち

今年は発表会に留まらず、交流やつながり発信ができる場にと企画しました。子供たちのつなぐ力、創り上げる力を感じた1日でした。

2015年度下半期 ふたばの学校 NEWS

双葉郡の各校は、それぞれのまちや避難先の地域で学びや行事に活発に取り組んでいます。元気に活躍する子供たちのようすを、各校のレポートからお届けします。

MAP 01 大熊中学校 10月 全校生で参加！ 鶴ヶ城マラソン

4月から毎日、部活動が始まる前に15分間走を行っています。その成果を試す機会として、初めて全校生で鶴ヶ城マラソン3kmに参加。校長先生を始め教職員と保護者も参加し、会津路を楽しく駆け抜けました。



ウォーミングアップはみんな楽しく

6月に完成した体育館で幼小中合同学習発表会を行いました。小学生は「世界不思議発見！inとみおか」と題し、劇形式でクイズを織り交ぜ各国のダンスや音楽を披露。子供たちは一人何役もこなす大活躍でした。



小学校全体合奏「威風堂々」

MAP 02 富岡第一・第二中学校 10月 小学生も大活躍！ 合同学習発表会

震災後初めて土曜日に開催し、大盛況だった文化祭。交通機関がなく見に来られなかった高齢者の方々のため、デイケアサービス等を行う施設を訪問し文化祭で披露した踊りと歌を楽しんでいただきました。



たくさん笑顔を見てとても幸せな気持ちになりました

MAP 03 富岡養護学校 10月 34人全員で力を合わせて

富養の一大イベント「おおすげ祭」。劇や歌を織り交ぜたステージ発表で、小学部は絵本「だるまさん」を、中学部は野菜を育てている畑を題材に発表。高等部は夜ノ森の神様にに向けて歌や合奏を届けました。



学習したことや得意なことを披露した小学生

MAP 04 川内中学校 11月 介護施設で「ミニ文化祭」

平成24年度から埼玉県山田村国際高校と交流を続け、いわきでの交流会や同校の文化祭に参加しています。12月には大分県立高田高校が来校。郡内の高校とも協力しながら、双高の今を発信しています。



自己記録に挑戦する子どもたち

MAP 05 双葉翔陽高校 11月 「大熊町ふるさとまつり」に出店

いわき市で開催された「大熊町ふるさとまつり」で、育てた農産物を販売しました。たくさんの方が来場され、生徒も町民の方々と交流し大変有意義な時間を過ごすことができました。



大根やハボタンなどを売りました！

MAP 06 広野小学校 12月 自分との闘い ～持久走大会

12月2日に町総合グラウンドで校内持久走大会を行いました。持久走は内なる自分との闘いです。800mから1200mまで、子供たちは学年ごとの距離を汗びっしょりになりながら完走することができました。



自己記録に挑戦する子どもたち

MAP 07 葛尾中学校 12月 感謝祭の復活を村へ提言

「村民を笑顔にしたい！」という子供たちの願いからスタートした葛尾中学校の「ふるさと創造学」。学習の最後には村役場に出向き、村長さんたちの前で村の活性化に向けた感謝祭の復活を提言しました。



パネルやカードを使って分かりやすく説明

MAP 08 双葉南・北小中学校 12月 素敵なふるさと “檜葉町”！

生活科・総合的な学習の時間で取り組む「ふるさと学習」。12月の「ふるさと学習発表会」は、保護者の方にも参観いただきました。子供たちは新しい発見をし、改めて檜葉町のよさに気づくことができました。



木戸川の鮭について、漁業協同組合の方のお話を伺うなどして、まとめました

MAP 09 浪江津島校 12月 はじめての 合同スポーツ大会

浪江津島校と浪江高校の合同スポーツ大会を初開催。生徒数が減少する中で、学校行事を活性化するため企画されました。予想以上の盛り上がりを見せ、大成功に終わりました。



熱戦を繰り広げた生徒たち

MAP 10 双葉高校 12月 交流会で 双高の今を発信！

平成24年度から「ふるさとなみえ科」の学習を通して作成してきた「なみえっ子カルタ」が今年度完成。子供たちはカルタづくりを通して、浪江町の豊かな自然、食べ物、伝統文化に改めて気づくことができました。



山村国際高校の文化祭ではおそろいのシャツで活動

MAP 11 津島小中学校 12月 ついに完成！ 「なみえっ子カルタ」

平成24年度から「ふるさとなみえ科」の学習を通して作成してきた「なみえっ子カルタ」が今年度完成。子供たちはカルタづくりを通して、浪江町の豊かな自然、食べ物、伝統文化に改めて気づくことができました。



絵札の作製は、絵本作家の飯野和好さんにご指導いただきました

MAP 12 富岡高校 1月 集いで確信 「富高はひとつ」

本校は、県内外のサテライトの生徒が集まる「富高の集い」を年に2回行っています。今回は、スキーやスノーボードなどのウィンタースポーツを通して、各サテライトの生徒間での交流を深めました。



町長さんに寄贈しました

MAP 13 富岡高 1月 集いで確信 「富高はひとつ」

本校は、県内外のサテライトの生徒が集まる「富高の集い」を年に2回行っています。今回は、スキーやスノーボードなどのウィンタースポーツを通して、各サテライトの生徒間での交流を深めました。



生徒たちの半年ぶりの再会

